

# 平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果(雲南市小・中学校)

雲南市教育委員会

## 1 調査の概要

(1) 実施期日 平成 31 年 4 月 18 日 (火)

(2) 対象学年及び教科

小学校 第 6 学年 (国語・算数) 中学校 第 3 学年 (国語・数学・英語)

- ・今年度より A 問題(知識)と B 問題(活用)の区別はなくなった。
- ・中学校英語は、「話すこと」調査も実施されたが、結果には含まれていない。

## 2 小学校調査 (小学校第 6 学年)

(1) 平均正答率 (%)

区分 \ 教科	国語科			算数科		
	H30		H31	H30		H31
	A 知識	B 活用		A 知識	B 活用	
雲南市	68	54	62	60	48	65
島根県 (公立)	68	55	62	61	49	65
全 国 (公立)	70.7	54.7	63.8	63.5	51.5	66.6
県と本市の差	0	-1	0	-1	-1	0
全国と本市の差*	-3	-1	-2	-4	-4	-2

\*全国値の小数第一位を四捨五入し、整数値にして算出

(2) 質問紙調査

	H30	H31		
	雲南市	雲南市	県	国
国語の勉強は好き	設問なし	64.3%	63.9%	64.2%
国語の授業内容がよくわかる	設問なし	86.2%	84.2%	84.9%
算数の勉強は好き	59.7%	64.1%	62.6%	68.6%
算数の授業内容がよくわかる	84.0%	84.1%	81.1%	83.5%

平成 29 年度 … 国語の勉強は好き (56.8%) 国語の授業内容がよくわかる (87.8%)

### 3 中学校調査（中学校第3学年）

(1) 平均正答率（％）

区分 \ 教科	国語科			数学科			英語科
	H30		H31	H30		H31	H31
	A知識	B活用		A知識	B活用		
雲南市	78	63	76	65	46	59	54
島根県（公立）	76	61	73	64	45	57	53
全 国（公立）	76.1	61.2	72.8	66.1	46.9	59.8	56.0
県と本市の差	2	2	3	1	1	2	1
全国と本市の差*	2	2	3	-1	-1	-1	-2

\*全国値の小数第一位を四捨五入し、整数値にして算出

(2) 質問紙調査

	H30	H31		
	雲南市	雲南市	県	国
国語の勉強は好き	設問なし	67.1%	62.2%	61.7%
国語の授業内容がよくわかる	設問なし	80.7%	78.6%	77.6%
数学の勉強は好き	54.9%	62.1%	56.6%	57.9%
数学の授業内容がよくわかる	77.5%	77.9%	73.1%	73.9%
英語の勉強は好き	設問なし	58.3%	54.2%	56.0%
英語の勉強はよくわかる	設問なし	67.1%	65.1%	66.0%

29年度 … 国語の勉強は好き(62.4%) 国語の授業内容がよくわかる(77.6%)

## 4 質問紙調査結果

### 1. 家庭生活に関する設問

#### ①家庭学習について

○自分で計画を立てて勉強をしている

設問番号(17)	小学6年生	中学3年生
雲南市	80.2	61.8
島根県	74.5	55.5
全国	71.5	50.4
差(市-国)	8.7	11.4

○平日1日当たり1時間以上家庭学習をする児童生徒の割合

設問番号(18)	小学6年生	中学3年生
雲南市	73.0	63.9
島根県	67.5	59.4
全国	66.1	69.8
差(市-国)	6.9	-5.9

#### ②家庭読書について

○平日1日当たり10分以上家庭で読書をする児童生徒の割合

設問番号(19)	小学6年生	中学3年生
雲南市	71.3	55.1
島根県	64.0	52.9
全国	65.7	50.4
差(市-国)	5.6	4.7

### 2. 学校生活(学習)に関する設問

#### ①「主体的・対話的で深い学び」に関する設問

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

設問番号 小(29)中(32)	小学6年生	中学3年生
雲南市	78.2	85.6
島根県	75.0	75.1
全国	74.1	72.8
差(市-国)	4.1	12.8

○授業で学んだことを、他の学習に生かしている

設問番号 小(30)中(33)	小学6年生	中学3年生
雲南市	87.8	81.7
島根県	82.3	74.6
全国	82.8	74.9
差(市-国)	5.0	6.8

○前学年までの授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

設問番号 小(35) 中(37)	小学6年生	中学3年生
雲南市	78.2	82.5
島根県	78.3	77.4
全国	77.7	74.8
差(市-国)	0.5	7.7

○前学年までの授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた

設問番号小(36)中(38)	小学6年生	中学3年生
雲南市	64.1	64.9
島根県	60.8	57.5
全国	62.5	55.8
差(市-国)	1.6	9.1

②各教科等に対する意識について

○国語、算数(数学)、英語(中学校)が好き

	国語科 設問番号小(37) 中(40)		算数科・数学科 設問番号小(46) 中(49)		英語科 設問番号(54)
	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	中学3年生
雲南市	64.3	67.1	64.1	62.1	58.3
島根県	63.9	62.2	62.6	56.6	54.2
全国	64.2	61.7	68.6	57.9	56.0
差(市-国)	0.1	5.4	-4.5	4.2	2.3

○授業の内容はよく分かる

	国語科 設問番号小(39) 中(42)		算数科・数学科 設問番号小(48) 中(51)		英語科 設問番号(56)
	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	中学3年生
雲南市	86.2	80.7	84.1	77.9	67.1
島根県	84.2	78.6	81.1	73.1	65.1
全国	84.9	77.6	83.5	73.9	66.0
差(市-国)	1.3	3.1	0.6	4.0	1.1

○授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える

	国語科 設問番号小(41) 中(44)		算数・数学科 設問番号小(50)	
	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生
雲南市	80.9	79.7	76.9	
島根県	76.7	71.1	73.4	
全国	76.9	71.6	76.5	
差(市-国)	4.0	8.1	0.4	

○本調査の解答時間は十分だった

	国語科		算数科・数学科		英語科
	設問番号小(57)中(67)		設問番号小(58)中(68)		設問番号(69)
	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	中学3年生
雲南市	73.3	82.5	80.2	74.7	52.6
島根県	68.0	84.6	80.7	76.4	51.9
全国	74.2	90.3	84.0	84.7	63.0
差(市-国)	-0.9	-7.8	-3.8	-10.0	-10.4

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う

設問番号小(31)中(34)	小学6年生	中学3年生
雲南市	73.9	85.2
島根県	69.7	73.6
全国	65.7	61.5
差(市-国)	8.2	23.7

○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う

設問番号小(34)中(39)	小学6年生	中学3年生
雲南市	85.8	87.4
島根県	82.3	79.1
全国	80.9	76.6
差(市-国)	4.9	10.8

## 5 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果(雲南市小・中学校)から今後の取組として考えられること

### 小学校

#### 【全教科】

- 児童が自ら学びたくなるような「めあて」の設定、質の向上を図る
- 授業の「まとめ」「振り返り」を位置付け学習内容の定着を図る
- 自分の考えをもつ**→**話し合う(音声言語)**→**課題に対するまとめを書く(文字言語)**  
上記の「学び合い」から「まとめ」までの流れを意識して行う
- 様々なテキスト(表、グラフ、地図、新聞記事等)を文章と関連付けたり、その意図を考えたりする活動を行う
- 課題解決の見通しや道筋を記入したり、自分の考えや思いを記入したりする場としてのノートの活用を意識する

#### 【国語科】

- ①「付きたい力」を明確にし、その力が活用できる言語活動を位置付けた単元計画を立てる(情景描写、要約、目的や意図等)
- ②明確な目的をもち、目的に応じて文章全体を概観して必要な情報を得たり、相手に質問をしたりする活動を取り入れる
- ③手元に辞書を置き、わからない言葉はすぐに調べる習慣をつけさせる(他教科でも)

#### 【算数科】

- ①数量の関係を図や数直線などに表す活動を位置付け、計算の意味の理解を基に演算決定をさせる
- ②「考えることは楽しい」「考えてよかった」と児童が感じられるよう、一人一人の考えを関連付け、整理していく過程を大切にする
- ③学習の振り返りの際に、学習内容とともに「みんなで何を考えたか」「どのようなことに困ったか」「よりよく解決するためにどのような考えがよかったのか」等の学んだ過程も振り返る

## 中学校

### 【全教科】

- 生徒が自ら学びたくなるような「めあて」の設定、質の向上を図る
- 授業の「まとめ」「振り返り」を位置付け学習内容の定着を図る
- 自分の考えをもつ**→**話し合う(音声言語)**→**課題に対するまとめを書く(文字言語)**  
上記の「学び合い」から「まとめ」までの流れを意識して行う
- 様々なテキスト(表、グラフ、新聞記事等)を文章と関連付けたり、その意図を考えたりする活動を行う
- 課題解決の見通しや道筋を記入したり、自分の考えや思いを記入したりする場としてのノートの活用を意識する

### 【国語科】

- ①生徒自身が目的や必要性を感じる学習課題を設定し、見通しをもって学習を進められるようにする
- ②話や文章の中で使いこなせる語句を増やし、語感を磨き語彙を豊かにする指導を系統立てて行う
- ③辞書を活用し、学習した語句を意識的に使用させる

### 【数学科】

- ①生徒自身が目的や必要性を感じる学習課題を工夫したり、教師が生徒の考えをつなげたりしながら、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりに取り組む
- ②生徒が見通しをもって問題解決に取り組めるよう、生徒が困っていることを取り上げたり、視点を明確にした話し合い活動を設定したりする
- ③他の学年や他の単元との関連をふまえながら習得した知識・技能を活用して探究する活動を行い、生きて働く知識・技能となるよう習熟・熟達を図る

### 【英語科】

- ①自然な口調で話される英語を聞く機会を増やし、聞いて把握した内容について適切に応じる言語活動を設定する
- ②言語材料(語や文法事項)は、5領域を組み合わせた言語活動の中で繰り返し活用することで定着を図る
- ③関心のある事柄や日常的な話題について、伝え合う内容と英語表現を即興で生徒に思考・判断・表現させる言語活動を継続して取り組む